

<b>【技術の名称】</b> 杭頭部に後打ち部を有するパイルキャップ構法	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 22-07 号 性能証明発効日：2022 年 6 月 2 日 <b>【取得者】</b> 西松建設株式会社
---	--

**【技術の概要】**

本技術は、既製コンクリート杭（以下、既製杭）のパイルキャップの一部または全部をプレキャストコンクリート（以下、PCa）造として事前に製作し、現場で杭頭部にかぶせるように設置して杭頭との間にグラウトを充填した上で、後打ちコンクリートを施工することにより杭頭接合部を構築する構法である。

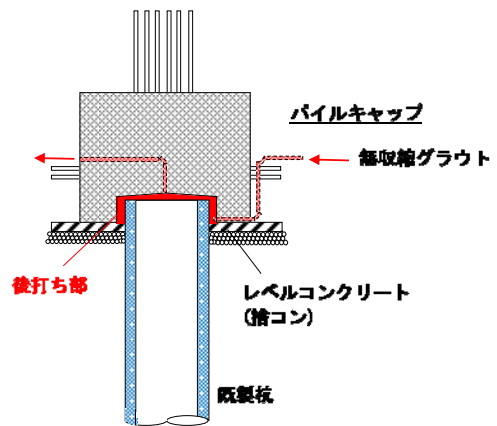
**【技術開発の趣旨】**

本技術は、事前に製作した PCa パイルキャップを用いて杭頭接合部を構築することにより、パイルキャップの施工の合理化（省人化・短工期化）を図ろうとするものである。また本技術は、引張軸力が作用しない既製杭と PCa パイルキャップの杭頭接合部が対象であり、杭頭に定着筋を設けず杭埋込み部の側面に緩衝材を巻き付けることにより、杭頭の固定度を低減して地震時の損傷を軽減することを意図している。

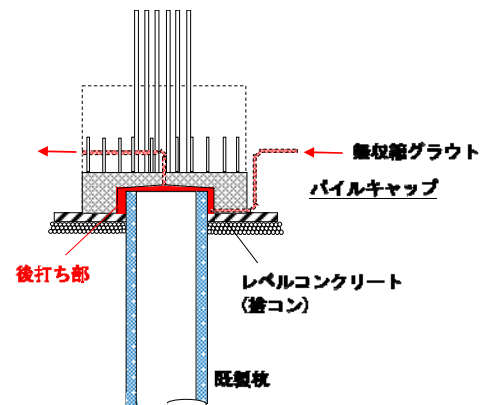
**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「杭頭部に後打ち部を有するパイルキャップ構法 設計・施工指針」に従って設計・施工された既製杭と PCa パイルキャップの杭頭接合部は、短期荷重時に修復性を損なう損傷を生じず、同指針で定める剛性および許容耐力を有する。



パイルキャップ全てを事前製作する場合



パイルキャップを部分的に事前製作する場合

図 1 構法の概要

**【本技術の問合せ先】**

西松建設株式会社 技術研究所 担当者：新井 寿昭  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー21 階

E-mail : toshiaki\_arai@nishimatsu.co.jp  
TEL : 080-9277-5537 FAX : 03-3502-0236